

教団新報

定 価 1部150円(本体133円+共214円)
予約購読料 1年分 千共 5,350円
紙代のみ 3,750円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
FAX03(3207)3918
URL http://uccj.org
発行人 秋 山 徹
編集主筆 渡 邊 義 彦
印刷所 株式会社さかんし



台風の中、大阪クリスチャンセンターに集う

2019年

秋季教師検定試験

正教師42名、補教師13名、転入1名受験

御言葉を語るための神学を身に 着けているか

2019年度秋季教師検定試験が、9月10・12日、大阪クリスチャンセンターを会場に行われた。台風15号により受験者の到着が案じられたが、無事に開催でき感謝である。

秋の試験は、正教師試験が中心となる。准允を受け適当な年数を経てきた者たちが試験に臨んだ。既に補教師として御言葉と教会に仕えてきた者たちが、改めて教師としての召しを確認しながらの試験である。受験者それぞれが教会の権能に携わる重みと畏れをいだきつつ試験に臨んだ。正教師の受験者は42名、加えて補教師13名、教師転入1名の受験者を得た。多くはないが、これだけの教師が立てられることに感謝したい。

受験者それぞれが、祈りと共に神の御前に畏れつつ、先立って出された御言葉に仕える経験を積

講評

2019年秋季教師検定試験が、9月10・12日、大阪クリスチャンセンターで行われた。台風の影響で、試験時間を繰り下げることも事前に計画したが、予定通りに行われました。補教師試験に13名、正教師試験に42名、転入試験に1名が受験されました。全ての受験志願者が、主の召しにこたえて、真摯に筆記試験と面接試験に臨みました。教師検定試験は、伝道者と

して一人一人の魂に向かって、御言葉を豊かに、深く、鋭く語るために、神学を身に付けているかどうかを試験するものです。伝道者としてまだ何が身に付いていないか、どこに課題があるのかを発見し、伝道者としての姿勢を整え直すのです。合格された方も、課題が課せられた方も、生涯に亘り、主から伝道者へ問われていることです。

第41総会期 教師検定委員長 井ノ川 勝

2019年秋季・正教師検定試験問題

教憲教規および諸規則・宗教法人法 (60分)

次の2題に答えてください。

1. 教憲前文の第3段落には教団成立の経緯が記されています。歴史的な視点を踏まえつつ、特に「くすしき摂理のもとに御霊のたまう一致によって」という文言から、何を受けとめることができるのか述べてみてください。
2. 宗教法人法による責任役員会の職務権限と教会規則における役員会の処理事項とを比較しながら説明してください。またその両者の関係をどのように整理して説明できるか、記してください。

旧約聖書神学 (60分)

次の3題のうちから、2題を選んで答えてください。

1. イザヤ書全体について、高等批評の問題に触れながら述べて下さい。
2. 仮庵の祭について、その規定や内容について具体的な聖書箇所を挙げながら述べて下さい。
3. パピロン捕囚後のユダヤ人の生活、特に信仰面においての活動を聖書箇所を挙げながら述べて下さい。

新約聖書神学 (60分)

次の3題のうち2題を選んで、聖書箇所をいくつか挙げつつ、答えてください。

1. 洗礼者ヨハネについて
2. イエス・キリストの昇天について
3. パウロは「自由」をどう理解しているか

教会史 (60分)

次の1題に答えてください。

- ◎日本基督教団は、日本基督教団信仰告白に「我らはかく信じ、代々の聖徒と共に、使徒信条を告白す」と述べ「使徒信条」を告白しています。この「使徒信条」の成立、西方教会全般で用いられるに至る経緯、また日本基督教団信仰告白にて告白される意味について述べてください。

と危惧されるものもある。それは、釈義・黙想の不十分さに伴うものでもある。しかし、近年の受験者の傾向として神学以前に聖書そのものに親しんでいないことが伺える。このことは筆記試験の「旧約聖書神学」、新約「旧約聖書神学」、新約「新約聖書神学」から指摘できる。「旧約聖書神学」では聖書の御言葉がどういう時代背景のなかで、どういう神学的思想をもって語られているのか不明瞭、不正確な解答が見られた。また「新約聖書神学」では聖書の箇所を挙げるに留め、その箇所をどのような意図をもって示しているのか論述できない解答があった。聖書の素読が召命と教会に仕える歩みのすべての始まりとなることを受け止めてもらいたい。

「教憲・教規、宗教法人法」では教憲前文の第3段落から教団の歴史的歩みを踏まえた解答を期待したが、教団史に思いを馳せることができない解答が見られた。



井ノ川委員長による全体講評

「面接試験」は受験者それぞれが御言葉で、召命を語ることができた。公同教会、信仰告白、教憲・教規、説教・聖礼典などを踏まえて、召されている確信を語る姿は頼もしい。

(清藤 淳報)

「組織神学」では組織神学的に考え、論述することが不慣れた受験者の姿が浮かび上がる。これも説教の言葉が整わないことの一因となっていると考えられる。

「面接試験」は受験者それぞれが御言葉で、召命を語ることができた。公同教会、信仰告白、教憲・教規、説教・聖礼典などを踏まえて、召されている確信を語る姿は頼もしい。

(清藤 淳報)

「組織神学」では組織神学的に考え、論述することが不慣れた受験者の姿が浮かび上がる。これも説教の言葉が整わないことの一因となっていると考えられる。

教師試験と合わせてコース受験志願者認定面接を行った。3名の志願者に対して教団の教師として立てられることの意味を確認し、今後の歩みのために祈りを献げた。

試験終了後、第3回教師検定委員会を開催。今回の試験を振り返り教師検定委員会としての課題も共有した。

お知らせ
「教団新報」今号を4912・13合併号とし、次号は11月9日に発行します。
総幹事 秋山 徹



夏の暑さに酷使した牧師館のクーラーが冷えたり冷えなくなったりでいよいよ交換となった。業者の人が自分も見たことがないほど古いものだと言っていた。昔のものは作りがよく長持ちするそうで、今のところは持ちません、とのこと。よく働いてくれた。

▼時代に耐える言葉とは何だろうか考える。古典、キャッチーながら繰り返し返される「コペー」、歌、真実を巧みに切り取った報道。逆に早々に陳腐化する言葉、ニュースは圧倒的に多い。そのときうまく切り取ったつもりでも、時間と共に色褪せてゆく。▼新報発行に携わり教団の目指す方向を示そうと努力してきたつもりではあるが、残る記事、言葉もあるが、早々に伝える意義を失ったものも少なくない。真実を見極める目がいかに眩んでいるかを思われる。

▼多くの書物を渉猟するわけではない者が貧しい読書歴の中で読み続けているのは、やはり聖書だ。時代に、歴史に耐えた言葉であり、時間的制約の中で永遠を語り続けていることに触れる喜びは何にも比べ難い。神には一日は千年のようで、逆も然りとある。限られたときの中で永遠の言葉に聞き、語る幸いに、なお与りたいと願う。

▼教区青年担当者会・教育委員会▲

「青年伝道のこれから」を協議

《教区青年担当者会》

9月9～10日、第9回教区青年担当者会が教団会議室で開催された。初日は台風15号が北上する最中であり、交通の事情で参加が適わなかった方もいたが、13教区から32名が出席した。

今回はプログラムを見直し、各教区や団体を代表している参加者が

発言する機会を多く設けた。一日目は、全国から集った担当者や秋山徹幹事が直接意見を交わす時間を設けた。秋山総幹事から「青年伝道のこれから」と題して話してもらった。内容は教団機構改定に伴う青年への働きかけについて、また「教団ユースプラットフォーム（KYP）」について

を基にして青年同士の交流や情報共有等の場を作った。KYPの構想を聞いた参加者からは、質疑応答時や分団時に様々な意見が出された。更に、グループディスカッションを2回行い、異なる場で働く担当者同士が語り合う場も交えて臨場感あふれる報告だった。

また、他教区や団体から提出された報告書が会場内の壁面に掲示され、参加者らが情報交換する様子も見られた。

二日目は、再びグループディスカッションが行なわれた。前日のプログラムを通して、参加者の関心が高かった四つのテーマ「プラットフォーム」、「世代（青年の定義・中高年の居場所）」、「地域とのつながり・リーダー育成」、「キリスト教主義学校との連携」に分かれて話し合った。

インターネットを紹介した。また、他教区や団体から提出された報告書が会場内の壁面に掲示され、参加者らが情報交換する様子も見られた。

また、今回は、再びグループディスカッションが行なわれた。前日のプログラムを通して、参加者の関心が高かった四つのテーマ「プラットフォーム」、「世代（青年の定義・中高年の居場所）」、「地域とのつながり・リーダー育成」、「キリスト教主義学校との連携」に分かれて話し合った。

また、今回は、再びグループディスカッションが行なわれた。前日のプログラムを通して、参加者の関心が高かった四つのテーマ「プラットフォーム」、「世代（青年の定義・中高年の居場所）」、「地域とのつながり・リーダー育成」、「キリスト教主義学校との連携」に分かれて話し合った。

また、今回は、再びグループディスカッションが行なわれた。前日のプログラムを通して、参加者の関心が高かった四つのテーマ「プラットフォーム」、「世代（青年の定義・中高年の居場所）」、「地域とのつながり・リーダー育成」、「キリスト教主義学校との連携」に分かれて話し合った。

日本基督教団総会議長 石橋秀雄

道が推進され、教団の伝道に勢いが増していくでしょう。一人一人が伝道に熱くなり、主から託されたこの国の伝道を推進していかねばなりません。

《共に祈ることから》

基本方針の第一は「祈ること」です。祈ることから始めましょう。主イエス昇天後の弟子たちは「心を合わせて熱心に祈っていた。……百二十人ほどの人々が一つになっていた」（使徒1・14～15）とあります。心を合わせ、熱心に、一つになって祈る。その祈りに応答するように聖霊が降りました。

伝道は聖霊なる神の御業です。神の御業に応え、祈りの輪を広げようではありませんか。基本方針では、毎月第3主日を「日本伝道の推進を祈る日」に制定しました。礼拝出席者数20名以下の教会を第3主日に覚えて祈ります。全ての教会が活性化され、この国の伝道に一致して取り組み「このようにして、主の言葉はますます勢いよく広まり、力を増していった」（使徒19・20）と言い得る教団を共に目指しましょう。

（「信徒の友」11月号より）

「伝道推進基本方針」展開案決議によせて

《小規模教会を伝道拠点に》

2030年問題が日本基督教団（以下、教団）に迫っています。2030年問題とは、この年を境にかなりの数の教団の教会が消滅すると言われている危機のことです。今、この危機に対する教団の取り組みが問われる中、教団常議員会は、「教団伝道推進基本方針―共に祈ろう、共に伝えよう、共に献げよう」展開案を決議しました。

この決議が画期的なのは、教団の教会が一致して日本の伝道に取り組む業が、具体的に示された点です。教団は全国に1685教会を有します。これほど多くの教会を有することは教団の強みと言えます。

しかしその中には少子高齢化が進み、消滅の危機にある小規模教会があることを忘れてはなりません。小規模教会は主の御体なる教会を立て続け、生き生きとした礼拝を献げています。その村に、その島に、その町に「主は生きておられる」との確信の中で伝道がなされていることに教団は絶えず励まされてきました。

この小規模教会を教団の伝道拠点教会として支えましょう。そのことから教団の全ての教会に血が通いだし、教区の伝

《教育委員会》

第3回教育委員会が9月10～11日、教団会議室で開催された。夏に行なわれた諸行事や各委員会の報告がなされた。2019年度クリスマス献金に関すること、精勤賞の表彰状とバッジに関すること、またキリスト教教育主事認定試験の日程等を報告、確認した。

教区教育担当者会が、2020年2月17～18日、東海教区・清水教会、清水国際高等学校で開催される。教会学校の在り方が多様化している中で、教団として「教育」をどう捉えていくかを参加者同士で考える時としたい。委員会に先立って

開かれた教区青年担当者会と同様に従来通りの会を開催するのではなく、教会や地域が直面している様々な現状や変化と共にある会を目指す。第42総会期に第3回教区中高生・青年大会を開催する旨が伝道委員会、伝道推進室との共同提案として増田将平委員長から提案された。すでに伝道委員会、伝道推進室、宣教委員会においても可決されている。2020年はオリンピックがあるため21年度に開催する希望がある。委員からは組織づくりや会計について、いくつか質問と意見が寄せられた。

台湾基督教長老教会との青年交流プログラムについて、望月麻生報

望月麻生報

望月麻生報

▼伝道対策検討委員会▲

小委員会、総会議員数改定を提示

9月13日、教団会議室にて、第4回教団伝道対策検討委員会を開催した。前回記録承認後、岸俊彦教団伝道推進基本方針展開検討小委員長が、教団伝道推進基本方針の具体的な展開の取り組みの現状を報告し、協議をした。

協議においては、第4回常議員会で決議した内容と異なっている点があること（祈りに覚える教会名を『信徒の友』に掲載する予定が1ヵ月遅れたこと、各教区から挙げ

会程度」であったものが「2教会」とされていたこと）について質問が出され、これに対して岸小委員長は、『信徒の友』の編集日程の都合上、祈りに覚える教会の掲載が1ヵ月遅れとなったこと、また、誌面の都合および費用の関係で「2教会」としたと答えた。また、石橋秀雄委員長は、このことについては教団三役が承認をしたと述べた。

次に、久世そらち教団機構改定検討小委員長が、教団機構改定案と

して、教団総会議員数案（議員数を教師100名、信徒100名、推薦議員は16名を超えない数とする。各教区選出議員数について最初に配分する議員数を教師2名、信徒2名とする）、および、常議員数案（三役と教師6名、信徒6名とする）を提示した。

協議においては、今後的小委員会における検討の方向性についての質問が出され、これに対して、

次、久世そらち教団機構改定検討小委員長が、教団機構改定案と

して、教団総会議員数案（議員数を教師100名、信徒100名、推薦議員は16名を超えない数とする。各教区選出議員数について最初に配分する議員数を教師2名、信徒2名とする）、および、常議員数案（三役と教師6名、信徒6名とする）を提示した。

協議においては、今後的小委員会における検討の方向性についての質問が出され、これに対して、

次、久世そらち教団機構改定検討小委員長が、教団機構改定案と

して、教団総会議員数案（議員数を教師100名、信徒100名、推薦議員は16名を超えない数とする。各教区選出議員数について最初に配分する議員数を教師2名、信徒2名とする）、および、常議員数案（三役と教師6名、信徒6名とする）を提示した。

協議においては、今後的小委員会における検討の方向性についての質問が出され、これに対して、

教師検定試験公告

2020年春季教師検定試験を左記の要領で行います。

一、受験要綱の申し込み

受験要綱と教団指定の願書用紙は160円切手を同封し、正教師受験志願者か補教師（A、B、Cコースの別も）受験志願者かを明記した上、封書でお申し込みください。なお、正教師受験志願者は「教師検定規則第12条②」によるものに限りです。

二、受験願書の提出

受験願書と必要書類を整えて、受験料とともに所属教区に提出してください。

①教区締切 2019年11月18日（月）

（教区により締切が早まる場合がありますので、教区事務所に確認してください）

②教団締切 2019年12月18日（水）

（各教区から教師検定委員会に提出する際の締切です）

＊受験料は正教師1万3千円、補教師1万円

三、補教師について

①「説教」「釈義」の課題テキスト
旧約 出エジプト記3章1～14節
新約 マルコによる福音書2章1～12節

②コースによつて「説教」「釈義」の提出内容が異なりますので、必ず受験要綱でご確認ください。

③補教師（CⅢコース）の牧会学の課題

『牧会とは何か』について論述してください。

④Aコースについては、教師検定規則第4条第3号にもとづく試験が実施されます。

同対象者は、神学校を通して説明をつけ、それにもとづく手続をおこなってください。

四、正教師について

受験志願者は、直接教師検定委員会までお問い合わせください。

五、提出物（説教、釈義、牧会学等）締切について
当委員会への提出締切日は、2019年12月20日（金）午前中必着です。

六、学科試験と面接試験について
学科試験は2020年2月25日（火）、面接試験は2月26日（水）、2月27日（木）に東京・日本キリスト教会館にて実施します。

詳細は受験志願者へ通知いたします。不明な点は直接、当委員会へお問い合わせください。
2019年10月12日

日本基督教団教師検定委員会

〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18-31
電話 03-3202-0546

（雲然俊美報）

◆宣教研究所委員会◆

今期研究テーマ担当者を決定

第3回宣教研究所委員等の担当責任者を以下のよう
に決定した。「教会の霊性」熊江秀一、「教
会と道義」岡本知之、「宣
問」柴田彰、「日本人

◆テゼ黙想ツアー◆

PCTテゼプログラムに合同し初参加

台湾基督長老教会(PCT)のテゼ黙想ツ
アーが8月23日から9月
5日に行われた。PCT
台中学生センターの潘忠
本牧師が始めた企画で、
2回目は今年も教団も誘
いを受け、合同のプログ
ラムとして実現した。
参加者はPCTが16
名、教団が7名、内引率
各1名であった。メイ
ンは8月25日から9月1
日に、テゼ共同体で行われ
る18〜35歳の青年たちの
ための国際的集いに参加
し、黙想すること、ヨー
ロッパを中心に世界各地
から約2000人の青年
が集まった。
テゼ共同体は1940
年、スイス出身のブラ
ザー・ロジエによって、
フランス・ブルゴーニュ
地方の小さな村「テゼ」
に創設された超教派のキ
リスト教男子修道会で、
分裂や争いのある世界
での「見える和解のしる
し」となることを目指し
て始まった。修道士(ブ
ラザー)たちが、教派の
違いを越えて、共に祈り
と労働の生活をする。テ
ゼは、深い沈黙の中の
祈りを大切に、朝昼晩
の祈りは、長い沈黙、祈
りの歌や聖書の朗読に
よって進められる。「内

委員会までに各担当責任
者が候補者と連絡を取
り、論文執筆依頼を打診
し内諾を得る。正式な委
嘱状は、次回の委員会
の承認後に送付する。予
算並びに作業工程に関し
ては道義一担当幹事の
意見も踏まえ、今後調整
していくことを確認し
た。

(小林 光報)

「宣研だより」に関し
ては2020年度に発行
することとし、巻頭言は
岡本委員長、各研究テ
マに関しては5名の担当
責任者が執筆する。
高橋委員の閉会祈禱を
もって終了した。

(小林 光報)

滞在中は朝晩の祈り
の他に、ワークシヨッ
プ(聖書研究、環境・社会
問題、芸術等)や、それ
ぞれのワークをして過
した。ワークは初日に全
員が1つ選ぶ。内容はト
イレ掃除、食事の配膳・
片付け、礼拝準備、ゴミ
捨て、聖歌隊等。その週
に招かれた人で共同体の
生活が維持される。今回
日本の参加者は、聖歌隊
と夕飯準備の奉仕をし
た。日々は単純素朴で、

(廣中佳実報)

伝道委員会

伝道の情熱の共有

古屋 治雄

伝道委員会は新総会期に入
り、申し送り事項を継承してい
くことに追われているのが現状
です。どれも大
事な活動である
ことは言うまで
ありません。
開拓伝道援助
金、会堂貸出金
の対応等、各個
教会・伝道所へ
の伝道に直結す
る持続的財政援
助について、限られた原資を公
平性をもって大胆に運用してい
かなければなりません。

委員会コラム

今総会期の宣教委員会は、委
員会そのもののあり方を検討す
る意図をもって伝道、教育、社
会の三つの常設委員会から2名
ずつ委員を出して構成されてい
ます。教団として宣教委員会を
(伝道委員長)



韓国人ブラザー・ハンヨル氏
(前列、右より二人目)との朝食

公 告

教師検定委員会では、教師検定規則第6条⑥
に基づき、同規則第3条6号対象者所謂Cコー
ス受験者) に対する認定面接を下記のように実
施します。

2020年秋季試験以降に新たにCコース受
験を志願される方は、本委員会の指定した書類
を2020年1月10日(金)までにご提出いた
だき、下記日程の面接にご出席ください。なお、
面接要領・提出書類用紙については、百円切手
を同封の上、本委員会事務局に直接お申込みく
ださい。

★認定面接

日時 2020年2月27日(木)15時〜(予定)
場所 日本基督教団 4階小会議室
なお、認定面接予定者には、書類受付後、案
内通知を送付します。
2019年10月12日
日本基督教団教師検定委員会
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-
3-18(電話03-3202-0546)

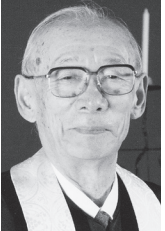
事務局報

菊間俊彦氏(隠退教師)



19年8月28日逝去、90
歳。大阪府生まれ。55年
東京神学大学大学院卒
業。同年より代田、村上、
大磯、駒込教会を牧会し、
06年隠退。遺族は妻・菊
間幸子さん。

米田 孝氏(隠退教師)



19年8月24日逝去、91
歳。東京都生まれ。83年
東京神学大学大学院卒
業。同年より大宮、用賀
教会を牧会し、東京神学
大学に務める。遺族は妻・
大住真理さん。



学神学教師)

19年9月5日逝去、64
歳。東京都生まれ。83年
東京神学大学大学院卒
業。同年より大宮、用賀
教会を牧会し、東京神学
大学に務める。遺族は妻・
大住真理さん。

第59回「キリスト教教育主事」 認定試験公告

第59回(2020年)「キリスト教教育主事」
認定試験を次のとおり行います。

◆受験願書提出期限 2019年12月9日(月)
(提出物1〜7を教区に提出)
◆論文提出期限 2020年1月24日(金)
(試験科目ハの論文・教団教育委員会に提出)
◆試験 期 日 2020年3月13日(金)
午前11時〜午後2時

◆試験 場 所
〒540-0004 大阪市中央区玉造2-26-47
TEL06-6761-8562
大阪クリスチャンセンター会議室

◆試験 科 目
Ⅰ. 筆記試験 日本基督教団教憲、教規およ
び諸規則(60分)
*試験時間に日本基督教団「教憲教規およ
び諸規則」を貸し出します。

Ⅱ. 口 面 接
ハ. 論 文 400字詰原稿用紙15〜20枚
「日本におけるキリスト教教育の歴史と展
望」

◆提出物

◎以下の書類を整え必ず期限までに教区事務
所に提出する。
1. 受験願書・所属教会主任教師の推薦書
2. 履歴書・信仰歴…1通
3. 教区の推薦書…1通
(以上は教育委員会所定のもの)

4. 出身学校校長の推薦書…1通
5. 出身学校成績証明書…1通
6. 「私はなぜキリスト教教育主事をめざす
のか、召命との関連で」記述書 400字
詰原稿用紙2枚程度
7. 受験料 5,000円

教育委員会所定の用紙は、〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18-31 日本
基督教団教育委員会に、住所、氏名を記した
返信用封筒に120円切手を添えて請求して
ください。

◆問い合わせ

日本基督教団教育委員会 〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18-31
TEL03-3202-0544
FAX03-3207-3918
2019年10月
日本基督教団教育委員会 委員長 増田将平

宣教師からの声

東京女子大学の創設者たちの志

佐野 正子

(東京女子大学現代教養学部教授)



卒業式後の風景(1927年頃)

東京女子大学 (Tokyo Woman's Christian University) は、日本で最初のキリスト教主義の女子高等教育機関のひとつとして、1918 年に創立され、2018 年に創立 100 周年を迎えました。開学当時の日本の教育制度では、大学の門戸は女子に対して閉ざされていましたが、本学はあえて「大学」と名乗り大学に相当する課程を設け、キリスト教の精神に基づく最高のリベラル・アーツ教育を目指しました。女子にも高等教育をという新しい時代を切り拓くための挑戦であったと言えます。

創立当初の英語名は“Woman's Christian College of Japan”でしたが、第二次世界大戦後に“Tokyo Woman's Christian College”とし、1976 年に現在の英語名となりました。本学の英語名は、一人ひとりを大切にするというところから、創立以来“woman”と単数で表しています。

本大学の創立の起源は、1910 年 6 月に英国のエディンバラで開かれた世界宣教大会 (The World Missionary Conference) にさかのぼります。教派を超えて一致協力して世界宣教に当たろうというエキュメニカルな高まりの中で開催されたこの大会において、「東洋にキリスト教主義に基づく高等教育機関を設置す

る」との提案が採択されました。その翌年大会の教育委員会アメリカ部代表者であったジョン・F・ガウチャー博士が来日し、各教派の宣教師や日本の代表的なキリスト教教育者たちとキリスト教主義の大学の設立の可能性について協議を重ねました。その結果

1912 年 12 月、日本に女子の高等教育機関をつくるための促進委員会が米国で設けられ、促進委員会は日本で女学校を営むプロテスタント諸教派に協力を仰ぎ、女学校の上にあった専攻科あるいは高等科を一つところに合同させ、女子の高等教育を各学校が個々に目指すのではなく、女子大学へと一本化することになりました。

本学の設立の主体となった 6 つの伝道社团は、(1)アメリカ・バプテスト教会、(2)基督教会 (ディサイプルス)、(3)カナダ・メソジスト教会、(4)メソジスト監督教会、(5)アメリカ・長老教会、(6)アメリカ・改革派教会です。創立当初の理事会は 6 つのミッションスクールの代表の宣教師 10 名と日本人キリスト者 5 名で構成され、本学の創立は教派を超えて国内外のキリスト者たちが協力し祈りを共にした結実でありました。

初代学長の新渡戸稲造、学監の安井てつ、常務理事の A・K・ライシャワーは、東京女子大学の礎を築いた 3 人です。

新渡戸稲造は、札幌農学校教授、第一高等学校校長、東京帝国大学教授を歴任後、本学の初代学長に就任、その後、国際連盟事務次長を務めた国際人です。第 1 回卒業式の祝辞の中で、学長として本学の教育の目指

すべき事柄を次のように語っています。「本校においてはキリスト教の精神に基づいて、個性を重んじ、世のいわゆる最小者 (いとちいさきもの) をも神の子と見なして、知識よりも見識、学問よりも人格を尊び、人材よりも人物の養成を主としたものであります」。有用性ばかりを重視して人材養成に重きを置く現代の風潮に対して、「人格を尊び」、「人物の養成を目指す」と言う新渡戸学長の言葉は、時代を超えて私たちに訴えかけています。

新渡戸学長のもと学監を務めた安井てつは、1923 年に第 2 代学長となり、国家主義が高まり、日中戦争、第二次世界大戦に至る暗黒の時代に、キリスト教高等教育機関としての本学を守り抜きました。

A・K・ライシャワーは、明治学院高等学部長を務めるかたわら本学の設立に参画し、設立代表者・常務理事として、創立期の困難な財政を支えました。

本学は、キリスト教大学として立ち続けるためには、大学の礼拝こそがその要であるとして、第二次世界大戦の苦難の中でも礼拝を途切れることなく守ってきました。1938 年に建てられたアントニン・レーモンド氏の設計による白いチャペルは、本館や講堂と共に黒く塗られ戦争中の被災から免れました。正門から

入ってすぐ右側のチャペルの白い尖塔は今も大学のシンボルです。

日々の礼拝は、月曜日から金曜日までの毎朝 1 限と 2 限の間の 10 時半から 10 時 50 分まで行われ、毎日 100 名前後の学生が集っています。チャペル正面と左右両側を囲んでいるステンドグラスから朝の清々しい光が差し込み、パイプオルガンの美しい調べを聴き、賛美し、聖書のみ言葉と説教に耳を傾け、神様と向き合い、心静かに自分を見つめる中で、学生たちは確実に何かを感じ取っています。本学の建学の精神は、「キリスト教の精神をもって、人格形成の基礎とする」というものです。礼拝こそ学生たちの人格形成の基礎となっていると確信しています。

少人数教育により学生一人ひとりを大切に育て、キリスト教に基づく人格教育を行うという教育理念を、本学は創立以来 100 年間大切にしてきました。創設者たちの志を私たちも受け継ぎ、どんなに社会のニーズが変わろうとも、変わらない「すべて真実なこと」(QUAECUNQUE SUNT VERA。本学の標語、フィリピの信徒への手紙 4 章 8 節。本館正面壁にラテン語で刻まれています) を心に留めて、これからの 100 年に向けて歩みを進めてまいりたいと思います。

(Kyodan Newsletter より)



大澤 小枝さん

未来を築く「教育」



東京生まれ。滝野川教会員。写真は、実弟が牧会している山口教会礼拝堂にて。

「教育分野で彼らの役に立たないのか」と疑問に感じ、勉強しようと思った。

ユネスコ・イラク教育担当事業統括上宮。ロンドン大学にて「地中海学―中東の歴史・外交」と「教育計画」の分野で修士を取得。UNRW A、UNHCR、ユニセフ、JICA、NGO でヨルダン、レバノン、ガザ、スーダン、イラクと、パレスチナ難民の教育を中心に、中東での教育に 10 年以上携わる。

クリスチャンホームに育ち、教会や学校で「パレスチナ」、「イスラエル」という言葉を聞いてなじみがあった。大学 1 年生の時に祖母と聖地旅行に行き、そこでパレスチナとイスラエルの小競り合いを聞き、「なぜこの人たちは長い間戦い合わなければいけ

る。攻撃に対し、攻撃で返すことが繰り返され、終わることのない不平等な占領下に生きるパレスチナの未来を築き上げるためには教育が基礎となることに気付かされる。パレスチナ人は「教育」を唯一奪われることのない投資であると信じ、子どもたちの教育

「教育分野で彼らの役に立たれば」との想いから、教育計画を学び、中東の国々で教育分野の仕事に就いている。現在は紛争や貧困、女子差別等、様々な理由で通学できない子供たちを学校へ通えるよう支援する事業の統括をしている。助けを必要としているイラクの将来を担う子どもたちのために、少しでも役立てれば嬉しい。

将来は、何が自分に与えられた働きか、御心を問いつつ、中東での仕事を継続するか、日本の教育の将来のために役に立ちたい。

この夏に教団や教区の主催で行われた様々な活動報告を聞く機会が多い。教区青年担当者会では、中部教区と東北教区のそれぞれの夏季キャンプの様子、それに、日独ユースミッションの参加報告があった。映像を通して若い人たちのほじける笑顔を見ながら、キリストの懷に招かれた豊かな交わりが広がっている様子を聞くことができた。

教会ではめったに見ない若者たちの集まりが盛んになっており、70 年代以降、壊滅状態であった教区や教会の青年の集いが

若者たちの新たな活動

とで、賛美があり、祈りがあり、聖書の言葉がある教会の交わりだからこそ、そこに集うことを喜ぶ群れができているのを見ることができると。

若者をリードする教師たちや

大人のボランティアの働きに感謝したい。リードするというより、人と人とを結びつけ見守るという姿勢を取り、霊的な深みへと導き、教会に結び付ける並大抵でない働きがいよいよ生かされるようお願いしたい。

先月イギリスのメソジスト教会の宣教幹事の来訪があった。一緒に同教団の青年会議の議長を伴ってこられた。19 歳のカーナ出身の女性。世界の教会を若い人に体験させるという教団の意気込みにふれた。

(教団総幹事 秋山 徹)